



2026-2028年期のSIA理事会候補者 第3選挙区

- 西中 章子, SI/鹿児島, 日本南リジョン



SOROPTIMIST®
Investing in Dreams

連盟理事候補者の履歴書

氏名: 西中 章子

正会員、国際ソロプチミスト 鹿児島 日本南 リジョン

ソロプチミスト歴

国際ソロプチミスト 鹿児島 クラブ会長(2009-2010)

(クラブ、リジョン、連盟、国際ソロプチミストにおける過去十年間の重要な奉仕活動について、それらの期日とともに含めてください)

<リジョン役職>

2010～2012 プログラム委員会委員
2012～2014 規約決議・SOLT 委員会委員長
2014～2016 トレジャラー
2016～2018 財務・資金調達委員会委員長
2018～2020 セクレタリー
2020～2022 ガバナーエレクト
2022～2024 ガバナー

<連盟役職>

2016～2018 資金調達リジョンチェア
2020～2022 LYD リジョンチェア

<クラブ役職>

2004～2006 トレジャラー
2007～2009 副会長
2009～2010 会長
2010～2012 理事
2016～2018 理事
2024～2026 理事

学歴:

鹿児島純心女子短期大学 生活学科食物栄養専攻

職歴:

1985年1月～ (有)アカデミー学院 常務取締役
1987年2月～ (株)日能研九州 常務取締役
1992年7月～ (株)アカデミア 代表取締役
2001年12月～ (株)トゥレーヌ 代表取締役 現在に至る

ソロプチミスト以外の組織における役員／理事／メンバーシップ(過去十年間):

2012～2016 城山観光(株) 社外取締役
2020～ 公益財団法人アカデミア育英財団 評議員
2022～ 公益財団法人ソロプチミスト日本財団 評議員

候補者の返答

以下の質問にお答えください。すべての回答は2ページ以内に収めてください。

1. あなたのソロプチミストとしての活動や個人的な活動から、あなたが奉仕活動及び経済的な面の双方でどのように具体的にソロプチミストの使命を支援してきたのかについて教えてください。

私は、1995年9月、ロータリアンの夫と知人(SI 鹿児島会員)からの勧めで国際ソロプチミスト鹿児島に入会いたしました。今年ソロプチミスト歴30年を迎えます。

その当時から私が所属する SI 鹿児島は、会員が50名以上在籍する大規模クラブで、ソロプチミストの使命のもと奉仕活動に大変熱心なクラブです。認証53年目の現在も力強く活動を続けています。

私はクラブで、財務・資金調達委員長やトレジャラーを長年務める機会に恵まれ、バザーや講演会・コンサートなどチャリティ事業を企画・運営することで、ソロプチミスト活動の地域での知名度アップと、支援に必要な奉仕金を調達することを学びました。

鹿児島クラブはチャリティで得た資金を SIA・リジョンに毎年継続的に寄付しており、また地域においても困難を抱える女性と女兒のために支援を続けています。

ソロプチミストの主要プログラムである「SIA 夢プログラム」を推進し継続するためには、それを支えるクラブ寄付と個人寄付が永続的に必要であることを、機会があるごとにお伝えしています。

私自身も SIA・リジョン・クラブへの個人寄付は心がけております。

また、個人的な社会貢献活動としては、2020年、夫と共に、公益財団法人アカデミア育英財団を設立し、学ぶ意欲があって経済的に教育資金が必要な青少年に対して無償の奨学金を給付しています。

財団設立はソロプチミストで培った社会課題の解決や人々の幸福を願うフィランソロピーが強く影響していると思います。

2. SIA 理事会の一員であるあなたは、理事会で判断を行う際、あなたが選出されたそれぞれの選挙区の代表ではなく、組織全体の代表となります。これは、「～の代表」に対して、「～のための代表」という形で説明されます。時には、ソロプチミストの組織にとって最善の利益ではあるものの、理事の選挙区内では高い支持を得ない判断が行われる必要があるかもしれません。あなたの意思決定プロセスがどのようにして、あなたがソロプチミスト組織にとって最善の利益となる判断を行うことを確実にするのか、教えてください。

私は、2010年にリジョン・奉仕プログラム委員会に所属して以来、リジョン役員として財務資金調達委員長やトレジャラー、セクレタリーと2024年にガバナーの任務を終えるまで14年間、リジョンの立場で奉仕活動を続けてまいりました。このリジョンでの経験により、ソロプチミスト活動は、SIA～リジョン～クラブと繋がっていること、合わせて SIA のロードマップに沿って会員全員が同じベクトルで大きなゴールを目指していかなければ、ソロプチミストの使命である「女性と女兒のエンパワーメント」に大きく寄与することはできないことを実感しています。

SIAが組織として発展し、その影響力を更に拡大させて、困窮している多くの女性と女兒が教育の機会と職業を得て輝く未来へ向かって進んでいけるよう、会員一人一人の力を結集して活動を進めていかなければならないことを常にお伝えしてまいりたいと思っております。

3. あなたの経歴、訓練、学歴、経験、関心の中で、具体的にどのような点が、SIA 理事会のメンバーとして奉仕するのに適格であることを示していますか？

まず、2010 年にクラブ会長を経験したことです。全てのプロジェクトはクラブ会員が協力して進めていかなくてはならないことを学びました。そしてその後 14 年継続してリジョン委員会・役職を経験したことで、それまではクラブの一員としての地域での奉仕活動が、SIA、リジョンとグローバルな視野でもって、プロジェクトを進めていかなければならないことを実感しました。同時にソロプチミストにおけるリーダーシップトレーニングを享受し、これらを多くの場面で発揮する機会をいただきました。これらの経験を基に理事会メンバーとして更に学びを深めて奉仕していきたいと思います。

4. SIA が、教育へのアクセスを通じて 50 万人の女性と女兒の夢を応援するという 2021-2031 年の「大きなゴール」を達成できるよう、ご自身の技能や経験をどのように活用されますか？

ソロプチミストのミッション・使命のもと、SIA2021-2031「大きなゴール加速プロジェクト」を推進しその目標を達成するために、SIAロードマップに沿って活動する重要性をこれまで同様、機会があるごとにクラブや会員の皆様にお伝えしてまいりたいと思います。

クラブでは、年齢やソロプチミスト経験が様々な会員が共に活動しています。

そのことをいつも念頭におき、会員の皆様にお届けする作成物やスピーチは、常に新しい会員にご理解いただけるように心がけてまいりました。

大切なことは、繰り返しお伝えすることで定着するものと思っております。

SIAから発信される貴重なリソースを、会員お一人お一人が理解し活用していただくことが、地域でのソロプチミスト活動を推進し影響力を高め、使命である女性と女兒のエンパワーメントに繋がると信じています。

5. SIA 理事会での任務を希望される理由は何ですか？

ガバナーエレクトとガバナー在任中、多くのクラブを訪問させていただきました。

クラブ訪問では、いずれのクラブも長年、地域に根差した奉仕活動に真摯に取り組んでおられることに感動しました。その一方で高齢化とそれに伴う会員減少は多くのクラブが抱える課題であることも感じております。

南リジョンでは 2022－2024 年期、4 つのオンラインクラブが誕生しました。

今後クラブがこれからの時代を担う若い世代の方々と共に、更に輝いて奉仕活動に参加していただけるよう、ソロプチミストの使命のもと、様々な課題に対して最善を尽す所存でございます。

私のモットーは～Step by Step～です。

皆様と共に、誠実に、一歩ずつ、大きなゴールを目指して努力いたします。